

# 休日議会を開催し 一般質問を行う

棚倉町議会では、初めての試みとなる日曜日を利用しての議会を開催しました。当日は、多くの町民が傍聴に訪れ見守る中、白熱した一般質問が行われました。



9月定例会での一般質問の様子



近藤 悦男 議員

問

中豊駅周辺にトイレが必要ではないか

答

修明高校からの要望はない

**質問** 駅周辺にはトイレ施設がなく、不便などを度々聞き及んでいる。

町はJRと積極的に協議をし、乗降客の不便さを解消してはどうか。

**答弁**(町長)

現在、修明高校からの要望はなく、理由としては、トイレを設置した場合死角となり、防犯面で不安材料となる可能性があり危惧している。

また、設置費用も含め、その後の管理運営が町の負担となることが予想されるため、現在のところ設置については考えていない。

**質問**

町や学校で作ってほしいというわけではなく、「JRにお願いして下さい」と言っている。積極的にお願いしてもらいたい。

また、駅舎に屋根を付けてもらいたい要望もあるがいかがか。

**答弁**(町長)

駅舎に屋根という話

は聞いてないが、そういう話があれば、またJRにお願いはできるかと思う。

しかし、学校の強い要

望がなければ難しいのではないかと思う。要望が実ってきた時は、町も動きたいと思う。



修明高校生の利用が多い中豊駅

問

ご当地ナンバーにて町おこしを

**答** 導入の可否を含め検討したい

**質問**

125cc以下のバイクでは、ナンバーが自治体で決められるので、町おこしの観点から、たなちゃんや蛍などの絵柄を入れた独自のナンバーを取り込む考えがあるのか。

**答弁**(町長)

独自のナンバープレートの導入は、県内の自治体ではまだないと聞いているが、全国的に見れば、イメージキャラクターなどをデザインしたナンバープレートを導入し、観光振興や知名度の向上を目指している自治体もある。

本町においては、現在

問

名刺にも、たな

**答** 名刺にも、たなちゃんや蛍の絵柄を入れるなど、検討が必要ではないか。

**質問**

現在、在庫が四百七十ケースほどあるので、更新時期に合わせて、PRの幅を広げるという意味からも検討を加えたい。

**答弁**(商工農林課長)

現在、在庫が四百七十ケースほどあるので、更新時期に合わせて、PRの幅を広げるという意味からも検討を加えたい。



棚倉町のマスコットキャラクター



蛍のイメージ図



和知 良則 議員

問

校庭の表土除去後の野外活動は

答

授業や運動会など従来どおり行われている

**質問** 放射能対策として、幼稚園及び小学校校庭の表土除去をされてきたが、減少の割合によつては、校庭などでの授業や運動会等のイベントは従来どおり行われるのか。

校庭等の表土改善やエアコン等を設置する場合、福島県より二分の一の補助とあるが、残り二分の一は東京電力への請求となるのか。

**答弁** (教育長) 表土除去は現在(八月末)までに、三小学校、一幼稚園で作業が終了しており、放射線量は国の基準を大幅に下回ることができた。そのため、校庭などでの授業や運動会などは、従来どおりの姿で行われている。

東京電力への請求については、請求できるものについては請求していくが、現段階において東京電力から補償内容・補償範囲・時期等が具体的に示されておらず、当面の間、地方債を充当していく。



表土除去が行われた近津小学校

**質問** 安全・安心な食生活を考え、食品の放射性物質検査測定器を早急に設置できないか。

また、子供たちの甲状腺や尿による内部被曝検査予定は。

**答弁** (町長) 農産物や食品の安全安心などを鑑み、放射性物質濃度の簡易測定器をなるべく早い時期に導入し、モニタリング調査を行う予定である。

内部被曝検査については、県において県民健康管理調査が実施されており、十八歳以下の全県民を対象に、甲状腺の検査が実施されることになっている。

**問** 財源の確保や資材の不足による公共工事への影響は

**答** 緊急性や特殊事情にあるものについては要望に応じていく

**質問** 東日本大震災の影響により、財源の確保や、資材の不足等による公共工事に対しての影響はないのか。地域からの要望や陳情において、国・県及び町においての対応はさらに厳しくなる可能性はあるのか。

**答弁** (町長) 町道段河内平塩線は、本年度から五カ年間でもって計画どおり整備を進めていく。今年度国・県で計画していた事業では、予算が確保でき

の事業進捗を図り、次年度以降も事業推進に努めていく。

地域からの要望や陳情は、次年度以降の予算確保が不透明であり、厳しくなる可能性もあると認識するが、優先性

を見極め要望等に応えていく。

県道山本不動線中ノ内・高瀬地内の歩道整備は急務であり、県との事務調整会議において整備要望を行う。

**問** 町道段河内平塩線に道順の道路標識を設置しては

**答** 道路改良工事を計画しており進捗状況を踏まえ検討していく

**質問** 県道山本不動線より町道段河内平塩線を経由し、県道黒磯棚倉線に向かう車両で、道順がわからないでいる車両がみられる。道路標識を設置しては。

**答弁** (町長) 町道段河内平塩線沿線への設置については、道路改良工事を計画しており、その進捗状況を踏まえて検討する。



5年間の改良工事が計画される町道段河内平塩線



金澤 義行 議員

問

河川敷の環境美化促進を

答

川サポート制度を推進する

**質問** 河川敷やサイクリングロード、農道、町道、橋梁等から、不燃物やペットボトル、空き缶、生ごみ等の投棄が後を絶たない状況にある。

特に、新豊岡橋下流から松岡橋間、及び近津川下流の河川敷については、町の実施するクリーンアップ作戦が六月のため、雑草やヨシが生い茂り、不燃物等が回収されないままになっている。

また、以前、八槻行政区で実施していた河川敷焼却は、許可申請の関係で中止となり、河川敷の環境美化が損なわれている状況にある。

このため、河川管理者である河川国道事務所が、行政区や消防団に協力を依頼し、焼却実施による害虫退治や、不燃物の回収で河川環境美化を図るべきと思うが、町の考えは。

答弁(町長)

河川敷の清掃焼却による環境美化については、管理者としては予算面からも河川内までの清掃には及ばない現状

にあることから、ボランティア活動として川サポート制度を推進し、地域や会社の方に登録をいただき、河川の草刈りやごみ拾いを実施。

焼却については、行政区から申請があれば、い

つでも許可されるのと。十分気をつけてもらえれば消防団も協力し、土木事務所も協力したいという意向なので、引き続き、計画していただきたい。



雑草等が生い茂る久慈川河川敷

**問** 国道118号線桃木田内交差点改良と県道近津停車場線歩道整備は

**答** 引き続き要望を行う



両側に歩道設置要望のある県道近津停車場線

**質問** 桃木田地区の交差点は、死亡事故や接触事故が多発し、早急に交差点改良事業の実施が必要である。

また、県道近津停車場線は、近津小学校への大切な通学路であり、一部区間は歩道が未設置で幅員が狭く、交通事故から子供たちを守るためにも歩道の設置と拡幅が必要である。このため関係機関に対し、積極的な対応を求めるべきと思うが町の考えは。

答弁(町長)

県南建設事務所に確認したところ、国道二八号棚倉バイパス整備に合わせ、交差点改良を計画したが、一部同意が得られない用地があり未改良となっている。

歩道整備については、子供たちの交通安全と、歩行者が安全で安心できる歩行空間の確保を図るため、引き続き事業調整会議において要望を行う。



松本 英一 議員

**問**

被災住宅の修繕費補助を検討してはどうか

**答**

20万円を上限として支援したい



屋根の一部が損壊した民家

**質問** 東日本大震災・原発事故後の対策、農業、商業の風評被害に対する減収補てん策を検討してはどうか。  
また、棚倉幼稚園児が早急に新園舎での生活ができるようにすべきと考えるが。

**答弁** (町長)

半壊以上の被災を受けた住宅は、災害救助法に基づき県が定めた住宅応急修理制度を活用し、現在九件の申請があり、四件は補修工事が完了し、五件が施工中。半壊に至らない

部損壊住宅については、国庫補助事業である社会資本整備総合交付金事業を活用し支援する。支援対象は、復旧工事が十万円以上で、補助額は復旧工事に要した経費の三分の一で、二十万円を上限とし支援する。

予算は、今回の九月補正予算において八千五百九十万円を計上している。

農業・商業の風評被害の損害賠償は賠償対象のため、各団体や個人で請求作業を行うことになる。

**答弁** (教育長)

今年度内に実施設計業務を完了し、平成二十四年度の早い時期に着工、平成二十四年十二月までに建築工事を完成させ、平成二十五年一月には新園舎の使用を開始する工程で進めている。工期短縮については、請負業者が決定後の工程会議等で協議をし、可能な限り短縮する。



改築を待つ棚倉幼稚園

**問** 土砂災害の被災状況と今後の対応は

**答** 危険箇所への被災報告はない

**質問** 土砂災害危険箇所はどれくらいあるのか。

**答弁** (町長)

土石流危険箇所七十二箇所、地すべり危険箇所六箇所、急斜面危険箇所三十九箇所計百十

六箇所。うち三十三箇所が土砂災害特別警戒区域で、この箇所については土砂災害ハザードマップを作成し、本年五月に該当世帯に配布をした。危険箇所の被災状況を把握と対応は、各地区からの被災報告がない。



民家の裏で発生したがけ崩れ

**問** 原発事故を契機に防災計画の見直し

**答** 国・県指針の状況を見ながら見直す

**質問** 住民の意見を反映して防災計画を策定してはどうか。

防災計画の見直し指針などが示されると考えられるため、状況を見ながら見直しをする。

**答弁** (町長)

今回の震災や原発事故を踏まえ、国・県から

見直し時の住民参加は、住民協力が必要なときは、参加を願う。



鈴木 政夫 議員

問

全町的な線量測定と除染の徹底が必要と思うが

答

町内37箇所週1回測定し公表している

【質問】大地震と原発事故は、福島県にとつて壊滅的な被害を受けている。町内の線量測定と除染の徹底が求められているが、現在、どこまで進んでいるのか。さらに、農畜産物や野生キノコまで汚染され、町としてダメージを受けており、風評被害防止策について町の対策を問う。

【答弁（町長）】

線量測定は、町内三十七箇所週二回測定し、ホームページで公表している。

除染作業は、県の放射線量低減化活動支援事業を取り入れ、現在まで十団体から申し込みがある。町としての除染計画も策定する予定で、国の指導を受けて対応していきたい。

米の線量調査と風評被害防止策は、予備調査と本調査の二段階で実施することになっている。

この方針で、九月五日に予備調査を行い、九月二十日以降に町内四十五十三行政区のうち、町としては子どもたちや町民が集う所を重点的に測定することです。三十七箇所としたが、行政区には測定器を二台ずつ配布し調査箇所も増やしていきたい。

【答弁（住民課長）】

【質問】線量測定を町内三十七箇所実施しているとのことだが、五十三行政区、全てで実施する考えはないのか。



地域ぐるみで実施する除染作業

問

社会教育複合施設の建設計画を問う

答

施設の一階は図書館・集会施設等、二階は歴史資料館を考えている

【質問】駅前建設される社会複合施設の内容を伺いたい。

【答弁（町長）】

この施設の用地が六月に確保でき、専用駐車場も交渉中。

基本的な建築計画案は、二階は図書館の開架書庫、閲覧室、事務室、閉架書庫など七百㎡。集会施設は大小会議室

問

ルネサンス棚倉の経営について問う

答

今後とも経営改善の見直しや検討を進め経営努力を続けていく

【質問】ルネサンス棚倉

は、現在、三億六千万円の累積赤字、加えて毎年、町は施設整備費として町費をつぎ込んできた。

さらに、町が二億二千万円の損失補償を行うことになり、経営破綻状態になっているが、このままいいのか見解を求めたい。

【答弁（町長）】

ルネサンス棚倉は、経営破綻ではなく債務超過になっているだけである。ルネサンス棚倉は土地も建物もなく、町の補償がなければ銀行はお金を貸すかどうか。経営努力はしっかり行っている。

【その他の質問】

問

山岡小学校の問題は住民意思を尊重して決めるべき

答

子どもにとって望ましい教育環境を考えていきたい

問

有害鳥獣駆除対策は再検討すべきではないか

答

当面は現状のまま対応し個体の捕獲に努めたい





佐川 裕一 議員

問

放射能汚染被害対策、震災被害対応を問う

答

町でも農作物モニタリング調査を実施



原発事故による風評被害で損害賠償の準備を進めるルネサンス棚倉

**質問**

(1) 北山本のチチタケから基準値の五十六倍のセシウムが検出されたが、キノコや農作物等に対する今後の対策は。

(2) 個人で採取したものを調べる方法はあるのか。

(3) 風評被害によるルネサンス棚倉の損害を東京電力へ請求するののか。

**回答**

(1) 県の農業総合センターに配置されているゲルマニウム半導体検出器によりモニタリング調査を実施している状況。また、町においても簡易の測定器を導入しモニタリング調査を実施。

(2) 農産物等の場合、個人的なものは民間の調査会社を紹介するが、条件が合えば、県のモニタリング調査をお願いできる場合がある。また、町が導入する簡易測定器で、地区ごとの農産物を調査する予定。

(3) 損害賠償請求の準備を、現在進めている。八月までの請求予定額は約一億二千万円。

**質問**

(1) 老夫婦世帯二人暮らしのお年寄りの方は何世帯、何名か。

(2) 安否の確認はどのように行っているのか。

(3) 病気・ケガ等を見つけた場合の対応は。

(4) 日常生活における支援は。

(5) 一人暮らし高齢者を悪質訪問販売振り込め詐欺等から守る為の啓蒙活動等は行っているのか。

**回答**

(1) 八月末現在で七十歳以上の老夫婦世帯は二百十四世帯で四百二十八名、一人暮らしの高齢者は三百六十四名。

(2) 民生児童委員、地域包括支援センター職員による一人暮らしの高齢者の訪問。また、生活機能アンケート調査等の際に、健康状況の把握にも努めている。さらには、配食サービス事業における安否確認や、緊急通報装置での定期的な安否確認や緊急事態発生時の体制を図っている。

(3) 緊急通報装置を設置されている方は、救急車の手配と、協力員の方への連絡で対応。また、今年六月からは緊急通報装置と連動させた火災通報

答

昨年三月に災害時要援護者避難支援プランを策定

問

老夫婦世帯・一人暮らしのお年寄りに対する日頃の安否確認、生活支援対策を問う

**質問** 個人の井戸水等の簡易放射線検査は町で考えていないのか。

**回答** (商工農林課長) 今後、検討していきたい。

【その他の質問】

**問** 社会教育複合施設整備検討委員会の内容を問う

**答** 原案を町で提案し検討する

(4) 配食サービス事業、寝具等洗濯乾燥消毒サービス事業、デイサービス事業、緊急通報体制整備事業、軽度生活支援事業など。

(5) 民生委員による、注意の喚起、防災行政無線による振り込め詐欺の注意、棚倉警察署からのパンフレットを配布しその啓発に努めている。



藤田 智之 議員

問

線量低減化の取り組みは

答

県とも十分連携を図り積極的に取り組む



高野小学校での表土除去

**質問** 現在計画されている線量低減化の実施予定はどの様になっているか。当町ではどの様な目標を考えているか。線量測定器の貸し出しの状況や除染による放射性物質の処理方針は。

**答弁** (町長)

放射線量低減化関連の補正予算で二億三千万円計上している。保育園の表土改善、高野小学校、山岡小学校、近津小学校、近津幼稚園の表土除去は終了してお

り、残りも順次、取り組む予定である。町内全域に係る除染は、今後、策定予定の除染計画の中で具体的に示したい。線量測定器の貸し出しは七台で行い、開始から四二六件貸し出した、現在の予約状況では空きもある。今回の除染活動における土砂等の処理については、一時仮置きで対応したい。今後も、県とも十分連携を図り、有利な財源を確保し、積極的に取り組んでいきたい。

**問** 震災からの復興計画などへの取り組みは

**答** 毎年の実施計画の中でスピーディーに対応したい

**質問** 震災からの復興計画や災害時の対応など新たな振興計画の策定に

取り組む考えはあるか。

**答弁** (町長)

東日本大震災による課題や情勢、特に原発事故に対する対応は緊急を要し、今年度の補正予算等により迅速に対

応しなければならぬ。このため、新たな振興計画を策定するという時間的な余裕が無いため、次年度以降については、毎年の実施計画のローリングにおいてスピーディーに対応したい。

**問** 震災による人口の増減は

**答** 移動者数は例年並みで特に変動は見られない

**質問** 震災による人口

の増減や、放射線など震災を理由とした転校などはあるか。出産、子育ての不安解消の取り組みは。避難者に格安での分譲地の提供は検討できないか。

多くは住民票を移動していない。

震災による転校は九月一日現在、小中学生合わせて県外に八名、県内に二名あった。

妊婦や乳幼児を対象に、比較的短期間で確認できる電子式個人線量計の貸し出しを実施する。分譲地の提供支援策は、慎重に検討したい。

**答弁** (町長)

例年並みの異動者数となっており、特に変動は見られない。避難者の

【その他の質問】

**問** 棚倉破砕帯は災害時に影響するか

**答** 破砕帯は岩盤層の一部で、町内には地盤のいいところも多い為、今度の被害も少なかったと思う



棚倉町振興計画書・実施計画書





大相 守 議員

**問**

棚倉町に定住したいとの声があるが

**答**

誠意を持って対応していく



被災者も参加する秋まつり

**質問** 東日本大震災の被災者への対応について。

- (1) 町内には被災者の方は何人いるのか。
- (2) 「ルネサンス棚倉」のほかにどこに避難しているのか。
- (3) 被災者の方々とどうかわつていくのか。
- (4) 被災者が本町に定住したい場合は。

**答弁**(町長)

- (1) 九月九日現在で、「ルネサンス棚倉」には二十四名、アパートや親戚宅に百八名で、合計百三十二名。

(2) 賃貸アパートや知人、親戚、さらに関連会社等の社宅。

- (3) 住宅の斡旋や生活用品など物資の提供を始め、国・県からの情報提供、イベントへの招待など支援を継続していく。
- (4) 誠意を持って対応していく。

**質問** これからの交流は。

**答弁**(住民課長)

子供たちに、秋祭り参加の呼びかけをした。

**問** 体育館はいつから全館使用になるのか

**答** 年内に全館使用できるよう努める

**質問** 東日本大震災後のスポーツ振興について。

- (1) 総合体育館の使用状況は。
- (2) いつから全館使用になるのか。
- (3) 小・中学校の体育館及び、グラウンドの状況は。

**答弁**(教育長)

- (1) 卓球場及び柔剣道場は、六月二日から使用を再開した。利用状況は、九月十一日現在、団体は十四団体、二十四十三名。個人は百九名。
- (2) 現在、耐震診断を委託しており、十月初旬に結果が出る。その状況を踏まえ、十一月には工事に着手し、年内に全館使用できるようにしたい。
- (3) 棚小・棚中体育館は来年一月から使用を開始させたい。グラウンドは町内すべての小・中学校校庭の表土除去を行う。

**質問** 棚倉中学校の部活動状況は。

**答弁**(教育長)

棚倉中学校の体育館が使えず、棚小の体育館も使用できないので苦慮している。修明高校の体育館を使わせていただいているが、やりくりが難

**質問** 校庭の表土除去の仕方は。

**答弁**(教育総務課長)

表土を三センチ掘削して、洗い砂を入れる。



立入り禁止状態の総合体育館アリーナ



鈴木 喜一 議員

問

## 棚倉町公民館近津分館の改築を問う

答

### 当面は修繕しながら補修工事等を行い維持管理を図る

**質問** 公民館近津分館については、棚倉町合併前の建物であり、現在、地域住民は身近な施設として寺山行政区老人クラブ、青年会、青少年育成会など活発に利用されている。しかし、床の損傷、水回りの不備、旧式トイレなどの環境が悪く、多くの区民が改築を望んでいる。

**答** 今後の生涯活動の充実に図るためにも大切な施設であると考え、町としては、近津分館の改築計画をどのように考えているのか。

**答** 現在使用している部分について修繕しながら、使用できない箇所については補修工事等を行いながら維持管理を図る。

**質問** 公民館分館ではなく、寺山区の集会施設の建設を願うがどうか。

**答** 宝くじの助成金と区民の寄附、町の一部負担ということで建設をして

いる地区もあるので、寺山区だけ振興計画に入れて建てるというのが果たしてどうか。よく計画を立てないと、振興計画に入れようがないと考える。



老朽化している近津分館

### 耕作放棄地対策を問う

**答** 地域で対策が計画されれば情報提供など支援をしていきたい

**質問** 農業委員会において、耕作放棄地の現地調査をしているが、その結果は。

各地区において対策団体を組織し、具体的な対応等を検討してはどうか。

町は継続的に新たな地場産業開発の情報を提供してはどうか。



増加傾向にある耕作放棄地

**答** 耕作放棄地の現地調査の結果、平成二十二年度は、町全体で二百七十三・七ヘクタールとなっている。

対策団体を組織し、具体的な対応等の検討については、農事組合などで耕作放棄地対策が計画されれば、情報提供を行うなど支援する。地場産業開発の情報提供については、今後も積極的に産業応援ファンドや、六次化産業の支援策などを情報提供していく。

**質問** 国における次年度の概算要求で、農地を貸した場合にも交付金を支払う対策が盛り込まれる方針である。これを活用して集落の農地集積を考えてはどうか。

**答** まだ全容がわからないが、そのような制度があれば研究をして、農地の集積等について検討したい。



宮川 政夫 議員

問

## 震災復興の進捗は

答

## 復興計画通り進めている



被害が大きい中央公民館

**質問** 東日本大震災復興計画及び原子力発電所放射能被害対策の進捗をたずぬ。

(1) 放射能汚染による農作物の被害状況は。

(2) ルネサンス棚倉の稼働状況と経営課題は。

(3) 当町への避難者の現状と今後の対応は。

(4) 当町の人口減は原発事故問題が要因か。

(5) 被災した公共施設の改修進捗は。

(6) 複合施設建設の財源は。

(7) 幼・小・中学校に對しての放射能対策は。

**答弁**(町長)

(1) 菌根菌類(野生キノコ)が摂取、出荷制限されている。その他の

野菜は解除された。(2) 売り上げは前年同期比較で約四千八百万円減。これまでキャンセルとなった顧客の再獲得を目指す。

(3) 誠意を持って対応している。

(4) 原発事故の影響ではない。

(5) 体育館は年内に全館解放を目指す。

(6) 公民館は現状のまま休館し、その後解体を予定。棚倉幼稚園は平成二十四年十二月に完成予定。

(7) 復興交付金を充てる。線量低減化事業を計画的に進める。

**答弁**(教育長)

(1) スポーツ教室を開催し、競技人口拡大に努めている。

(2) 高度な技術を要するボランティア指導員の確保は困難。

(3) 見直しを検討する。

(4) インドアテニスコート改修を計画している。

**問** スポーツ振興施策をたずぬ

**答** 施設改修を計画的に進める

**質問** 健康増進、町民の元気を育むためスポーツの振興は欠かせない。

(1) 町民一人一スポーツの現況は。

(2) 指導者の育成、確保施策を示せ。

(3) より多くの選手、団体を激励するため激励金交付要綱を見直すべき。

(4) ルネサンス棚倉内のスポーツ施設改修計画は。

**答弁**(教育長)

(1) スポーツ教室を開催し、競技人口拡大に努めている。

(2) 高度な技術を要するボランティア指導員の確保は困難。

(3) 見直しを検討する。

(4) インドアテニスコート改修を計画している。

**問** 県道黒磯棚倉線日向富岡工区の進捗は

**答** 今年度も用地買収を進める

**質問** 道路改修要望に對する現況をたずぬ。

**答弁**(町長)

町民から相当数の整備要望があり、現地精査を踏まえ心えている。国・県道は県南建設事務所を通し緊急性を強調し要望している。

日向富岡工区の歩道整備は事業の加速化を求めている。



歩道のない通学路(日向富岡地区)

きれいに整備されたテニスコート



# 厚生文教常任委員会

厚生文教常任委員会では、次の内容について所管事務調査を実施し、調査結果を以下のよう  
にまとめた。

## 一・介護保険の現況調査

制度の運営主体である保険者は市町村であり、六十五歳以上が第一号被保険者、四十歳から六十四歳までが第二号被保険者となるが、第一号被保険者で介護を必要としている人、第二号被保険者で特定疾病により介護を必要と

している人が、今後増加していくものと思われる。

大幅な保険料の増加や、施設入所待機者の増加が懸念されるため、本年度策定される第五期介護保険事業計画の中で検討が必要と考えられる。



特別養護老人ホーム寿恵園での調査

## 二・震災後の教育施設の現況調査



近津幼稚園の現況を調査

棚倉幼稚園施設建設のタイムスケジュールでは、平成二十三年度に地質調査、基本設計を行い、園舎の建築については、平成二十四年六月頃に着工、十二月に完成、平成二十五年一月に新園舎の使用を開始する計画である。一定の見通しが示されたことは評価できるが、幼稚園の現状を見れば一刻も早い完成が望まれる。

暑さ対策として、各教室に扇風機が設置されているが、十分とまではいかず厳しいものがある。暑さによる健康被害対策として、幼稚園及び小・中学校にエアコンの設置を要望する。  
(九月開催の棚倉町議会定例会において、エアコン設置の補正予算が計上され、二十三年度内に設置が完了する。)

山岡小学校は、幸い大きな被害はなかったものの、玄関テラスや内外壁のクラックが広がり、今後耐震面において不安が残る。  
今回の震災による被災というよりも、校舎の老朽化が進行していることが問題であり、授業に支障が出ることも想定される。  
今後の山岡小学校の対応を早急に考える必要がある。  
以上、厚生文教常任委員会の調査結果報告といたします。

厚生文教常任委員会  
委員長 和知 良則



山岡小体育館の視察

# 建設経済常任委員会

建設経済常任委員会では、次の内容について所管事務調査を実施し、調査結果を以下のよう  
にまとめた。

## 一・東京電力福島第二原子力発電所事故における棚倉町産農作物や商工業の被害状況調査

棚倉町の取り組みとして、農家へは県からの指示文書等の回覧。町民に対しては、防災無線放送やホームページで随時情報提供を行っている。

中小企業向けにはホームページで国、県の制度資金等の情報を提供。

更に風評被害一掃キャンペーン(町物産販売促進)を実施している。

今後も適時情報を収集・提供し、町民の不安解消に努めてほしい。

棚倉町の農業部門損害賠償請求額が五十五名、千二百五十万円。

(JA東西しらかわ全体で五千七百五十万円)。(七月一日現在)

町商工観光部門で、被害額一億二千七百五十万

円(商工会・宿泊、飲食店等)。

うちルネサンス棚倉は九月末分のキャンセル等も含め一億二千八万円。

今後は間接的な影響も多くなると予想される。町としてはそれら個々の情報を収集し、被害者支援体制を取っておくべきである。

東電・国からの情報待ちではあるが、損害賠償請求相談窓口を開設するなど、現場の状況を理解し被害者が安心できるように対応することを望む。

## 二・TPP(環太平洋パートナーシップ協定)が締結された場合の影響調査

棚倉町議会として、平成二十三年三月定例会において、「TPP交渉参加に反対を求める意見書」を提出している。

委員会では、TPP締結に強く反対を求め意見があった一方、国の三省庁から提供される情報がバラバラであることから判断が困難との意見もあり、現在の棚倉

町の対応である、「TPP締結交渉に当たっては慎重な対応を求める」ことを確認した。

## 三・町営住宅の入居状況等現況調査

町営住宅の現状について、建設課より入居及び入居希望状況、今後の改築、増築計画などの

説明を受け現地調査も行った。

町営住宅の整備は定住促進に役立つことか

ら増改築は早急に検討すべきとの声が多く、具体的には、トイレが水洗化されていない住宅は、水洗化を推進し、若年層入居希望者に応えるべきである。

また、雑草などで管理されていない住宅もあつたため、定期的な管理の徹底と、入居者同士での環境美化も啓発すべきである。

以上、建設経済常任委員会の調査結果報告といたします。

建設経済常任委員会

委員長 宮川 政夫



町営住宅の現状について調査

## 議会傍聴で感じたこと

九月十八日に行われた一般質問には、棚倉、杜川、高野地区のふれあい学級の皆さんのほか、たくさんの方々が傍聴されましたので、感想の一部を紹介します。

### 傍聴の目的は

- ・町の行政全般について知ることができ、傍聴するようになっている。
- ・町長・議員の活動と議会における質疑が、町民のためにどの様に生かされているのかわかるため。
- ・町政について議員の活躍を確認したいため。
- ・自己研修と棚倉町議会の運営。

### 傍聴された感想は

- ・全体的に東日本大震災と原発事故の問題が取り上げられ、関心の高さと今後の対策が重要と感じられた。
- ・休日出勤で~~弁当代等の支出がどのようになるのか~~。質問答弁が余りにも固い。もう少し柔らかい質問と答弁で良いのでは。形式的に質疑がされているように感じた。
- ・東日本大震災について不安の生活を早く収束される努力を感じた。
- ・休日議会に大賛成。熱心なる応答、議会の内容、雰囲気をもっとPRしたい。

### 議会活動・議員に期待することは

- ・町の活性化に結びつく対策を考えてほしい。行政改革や、高齢者医療制度の見直し等に取組んでほしい。
- ・地域の不安を早急に解決できる努力をしていただきたい。
- ・ルネサンス棚倉の活用は、町、議員、町民一体となりPR活動。(老人会、子供会、町内スポーツ団体)

### 議会に取り組んでもらいたいことは

- ・痛風になり放置すると人工透析が必要になると報じられているため、町の健康診断で「尿酸値」検査を取り組んでほしい。
- ・町民の意見を形式で答えるのではなく、町民からの意見には十分配慮されることを期待する。
- ・町民が安心して生活できるようにお願いしたい。
- ・文化財資料・施設・保存のPRと活用を。一般町民にもっと議会の素晴らしい討議内容をPRしてください。

※議員に対し、弁当や日当の支給はされておられません。また職員の日出勤分は、勤務日の振替等により対応されます。

## 表彰 町村監査功労者

去る十月六日、東京都港区メルパルクホールで開催された、全国監査委員研修会の席上、平成二十三年度町村監査功労者の表彰が行われ、多年にわたり町村監査委員として地方自治の振興発展に貢献された功績により、和知英臣監査委員が表彰を受賞されました。

### 受賞者

和知 英臣 監査委員



### 編集後記

あの東日本大震災から八ヶ月。福島第一原発事故の収束は、いまだに先が見えない。政治に今、何が求められているのか。そして、私たちは今、何が出来るのか。議会として考えていきたい。

広報編集常任委員会  
委員 大相 守

### 広報編集 常任委員会

委員長 鈴木 政夫  
副委員長 佐川 裕一  
委員 大相 守  
委員 鈴木 喜一  
委員 宮川 政夫

### 12月定例議会日程のお知らせ(予定)

12月20日(火)	開会・本会議
12月21日(水)	休会
12月22日(木)	一般質問・閉会

※正式日程は、12月上旬開催予定の議会運営委員会にて協議されます。